

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月1日

事業所名 ぐるはうす黒川

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・配置人数を多く取り、隅々まで目が行き届くようにされている。 ・学習と遊びスペースが別々にし、気持ちの切り替えがしやすい環境づくりをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1		・人数に合わせて配置人数を多く取り、事故防止に務めた人数を設定されている。 ・目が行き届き環境を作る為、職員を多めに配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	3	・階段には手すりを設置している。	現状利用児童には問題ない為、今後の利用児童によって今後の検討を行っていく。保護者で補助が必要な方は、職員が補助をしているため、現状大きな問題はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		2	・職員会議ではTODOリストを作り報告連絡をしながら進めている。 ・社員間だけでなく現場でのMTGも行い、重要事項の伝達にはグループLINEなどを通じて適宜情報の発信、共有を行っている。 ・ミーティングをこまめに行うようにし、連絡事項の共有を行うようにしている	・LINE等を使い、内容の共有をさらに図っていく。できるだけ多くの職員が参加できるように時間等工夫して機会を増やしていく。 ・虐待防止、身体拘束についての研修、避難訓練を定期的に行う機会をふやしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		2	・保護者の意見を精査し、取り入れられるものから順次対応している。 ・頂いた意見について話し合い、より良い環境作りに努めている	今後も定期的にも実施し業務の改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・専用のHPを使い、公に公開されている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	3	・各方面の有識者に指示を仰ぎながら適宜対応している。	現在外部評価は行っていないため、必要に応じて検討してきた
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		1	・オンライン研修を活用し、積極的に研修に参加している。 ・定期的に開催されるセミナーを活用し、スキルアップを図っている。 ・セミナーや講習会等、受講する機会を設定している	名古屋市の研修会や事業所連絡会主催の研修会に積極的に参加していきたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		2	・事業所での様子、学校の様子、家庭での様子、保護者の悩みなどを拝聴し、それぞれのニーズやすべきことにフォーカスして行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		3	・標準化された物に加え、必要である項目は適宜設けて行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		・職員会議で担当を決め、企画立案から実施までを分担して行っている。 ・1人で考えるのではなく、社員、職員を含めた全体で考案し、試行錯誤されている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・より多くの児童が色々な体験ができるようプログラムを組むよう考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		1	・参加する児童に合わせて特に必要なスキルを精査して独自のプログラムを企画、実行している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		1	・当日のメンバーやプログラムによってそれぞれに適したレベル分けや個別対応を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		1	・LINEを活用し事前に情報を共有している。 ・開始前には、当日の動き、注意点などを必ず確認して支援を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		1	・主にLINEを使い、すぐに情報を共有し、改善につなげている。 ・当日あった出来事を職員間で話し合い、問題があれば管理者や全職員へ即座に共有を図っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・HUGの業務日報や記録写真の撮影をこまめに行い、改善点を記録として残すようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		1	・定期的に職員間全体で個々の現状を鑑みて今後の支援について話し合う場を設けている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6		2		新たに加わった職員に足してもガイドラインの精読を行い、改めて全体で再確認をするミーティングを実施する。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		1		相談支援員の方からの声掛けがあれば随時参画していく。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			・月1回のぐるはうす通信の発行や各家庭との連絡をまめに行い、5分でも変更があれば必ず連絡を入れるようにしている。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		7		・契約の際にかかりつけ医などの記録を残し、有事の際に対応できるよう厳重に保管をしている。	現在医療的ケアが必要な子がおらず体制を整えていないが、今後対応が必要な場合は改善していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		5		・必要に応じて保育園や幼稚園、他事業所にヒアリングを行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		2			・まだ該当の児童・生徒が出ていないため、まだ実施していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		5		・判断に困る場合は些細なことでも判断を仰ぎ、独自の判断で推し進めないよう務めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	5		・外部施設、特に公園などに赴いた際、一緒に活動をして交流を図られている。 ・公園での活動を通して、地域の子供達と遊ぶ事がある	地域内の施設と交流を図っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	3			今後必要に応じて検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	8				・送迎時やLINE等を駆使し、情報の共有を密にしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	3			保護者会や個別に支援ができる体制を構築していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		2		・契約時に重要事項説明書を使い、必ず説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		1		・LINEや電話、場合によっては対面での場を設け、いつでも相談しやすい状況を作り、事業所で気になった点は即座に連絡相談をする体制がある。	各家庭との悩み相談など今後さらに強化していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	3			・現在保護者会は行っていないが、今後検討をしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				・管理者、児童発達支援管理責任者を中心に保護者、児童にすぐに対応できる体制が整っている。 ・職員会議で情報共有を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		2		・月に1回利用者向け通信を発行し、全体への周知を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	8				・鍵付きの書庫で管理している。情報発信の際には必要最低限の個人情報に留めて共有・発信をしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				・理解・納得していただけるまで寄り添った対応を心がけて行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	4			今後事業所の行事など企画し、地域の方へ案内をしていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				・当事業所独自の物を策定し、常に目を通すことができる場所に保管してある。	新しい職員にも周知を徹底するため、マニュアルの見直し、改訂を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				・月1回は避難訓練等を実施し、活動内容と改善点について報告書を作成している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				・専用の資料を策定し、入社時と年2回に虐待防止に関する場を設けている。	研修機会を設け実施する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		1		・契約前に事前説明を行い、有事の際に実行した場合は当日中に保護者への伝達と経緯の連絡を行っている。	職員向けに分かりやすいマニュアルを作成し、再度周知していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				・職員間で対応について共有し、HUGの方でもアレルギーのある児童が来る場合に通知が出るように設定している。	新しい職員にも周知を徹底するため、マニュアルの定期的な見直し、改訂を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				・事例が起きた場合ヒヤリハットの報告書を作成し、共有している。	・ヒヤリハットに対しての報告、相談を細やかにし、事故になる前に改善を行う。